

「過疎地」か「パラダイス」か

2014年12月9日

クローバー・アセットマネジメント株式会社

代表取締役社長 多根 幹雄

先日「バカの壁」でおなじみの養老孟士先生にお会いしました。先生のお話では、「現在の日本人は、自分が食物からつくり出すエネルギーの40倍の外部エネルギーを消費している計算になる」そうです。かつて人類は主なエネルギー源を山や森から得ていたので、自然と協調しながら、また人の力や動物の力に頼って生きてきました。しかしながら、その後石炭や石油などの化石燃料を活用するようになり、ある意味エネルギー的にみると、人間の価値や、自然の価値が大幅に低くみられるようになり、人間や自然に対する敬意が失われつつあるのだ、というご意見でした。

ただその化石燃料も元をただせば何億年もの太陽エネルギーが形をかえ地中に蓄積されたものの。シェールガス等の新しい採掘技術でさらなる生産量の確保が期待されていますが、それでも100年ちょっとで使い切る量です。とても今のような生活が永遠に続くわけではないのです。かつて栄華を誇った数々の文明も、森林の崩壊によって滅びてきました。そのことは決して忘れてはいけないと思います。

「地方消滅」（増田寛也著）という本に、2040年までに896もの自治体が消滅するというショッキングな内容が書かれて話題になっています。実は、私が理事長を務める小さな化石博物館のある奥出雲町も、島根県で三番目にリストアップされています。奥出雲町はヤマタノオロチ伝説の須佐之男尊（スサノオノミコト）と稲田姫が新婚のとき住居を構えた神話の古里であり、自然の豊かな土地です。

これらの地域は、勤め先も所得も少なく、近年多くの若者が都会に移り住んで行きました。しかしながら、これら殺伐としたイメージのいわゆる「過疎地」ですが、見方を変えれば、魅力的な場所だということに気付きます。例えば、「沢山の人工林が放置されている＝エネルギー源が沢山ある。」、「鹿、イノシシの被害がある＝食れる蛋白源が豊富。」、「雪が多い＝年中絶えない綺麗な水源がある。」、「人口が少ない＝奪い合う人間が少ない。」ということで、本質的に人間が生きて行くには天国のような場所だとも言えます。

養老先生はまずは現代版の「参勤交代」として、毎年ある時期、田舎で暮らすことを推奨しています。ずっとそこで生活するのは苦痛でも、時々豊かな自然の中で体を動かすことで、自分自身と地方の再生が出来るかも知れませんね。是非、奥出雲町へもお越しください。

さてファンドの方ですが、黒田日銀総裁の二発目のバズーカと、消費税再増税先送りがセットになったアベノミクス解散というサプライズの中、さらなる円安の進展、そして株式市場も好調に推移し、各ファンドも高値を更新。クローバー全体でも60億円が目前に迫って来ました。一方で、これも見方を変えれば、急激な円安で、約810兆円を超える多くの日本人の円預金はドルベースで大幅に価値を失ってしまっているということでもあります。もともと2013年1月に私がクローバーに参画を決めた大きな理由の一つが、こうした状況から日本人の資産を守りたいということでしたが、少なくとも皆さんの資産についてはなんとか今日までのところ実現出来ているということになります。来年はもっと多くの方々との出会いを求めて頑張りたいと思います。それでは少し早いですが、皆さま素敵な新年をお迎えください。

セミナーのご案内



いかす
(上級)

クローバー2014感謝祭

【日時】 2014年12月19日(金)18:00~20:00

【会場】 ポーラ銀座ビル 4Fミキシムギンザ内
東京都中央区銀座1-7-7

【費用】 1,000円(ドリンク・軽食付き)

【定員】 33名

【講師】 澤上 篤人氏 さわかみ投信会長
草刈 貴弘氏 さわかみ投信CIO
糸島 孝俊氏 コモンズ投信運用部長 他

Merry
Xmas
2014



clover
asset management



いかす
(上級)

クローバー遅めの新年会 in 浪花

【日時】 2015年1月24日(土)13:30~15:30

【会場】 メガネの三城 心斎橋本店3Fサロン
大阪府中央区心斎橋筋1-4-26

【費用】 無料(交流会参加の場合は1,000円)

【定員】 40名

【講師】 澤上 篤人氏 さわかみ投信会長
多根 幹雄 弊社代表



澤上 篤人氏



はじめる
(初級)

貯金がない人こそ投資をはじめよう！

【日時】 2015年1月25日(日)10:30~12:00

【会場】 メガネの三城 神戸三宮店
神戸市中央区御幸通8-1-14 S・ヨシマツビル9F

【費用】 無料(交流会はありません)

【定員】 40名

【講師】 澤上 篤人氏 さわかみ投信会長
多根 幹雄 弊社代表



多根 幹雄

お申込み

クローバー・アセットマネジメント

03-6262-3923

または

gyoumu@clover-am.co.jp

『時 × 空』投資で創る自由な未来

clover
asset management

■当セミナーでは、クローバー・アセットマネジメント株式会社が設定・運用・販売を行う投資信託の勧誘を行うことがあります。■投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。■当セミナーで示された数値、見通し等は、講演会開催時点のものであり、その正確性を保証するものではなく、将来予告なく変更されることがあります。将来の企業業績、市場環境の変化および運用成果等を保証するものではありません。

ファンド概況

基準価額	13,455円	純資産総額	714百万円
設定日	2008年4月24日		
信託期間	無期限		
決算日	毎年2月25日		

期間別騰落率(%)

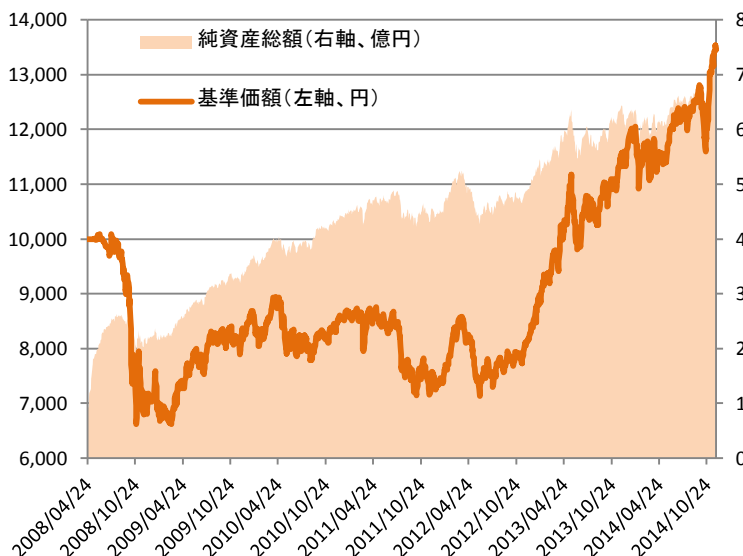
1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
8.39	8.78	14.59	16.76	82.44	34.55

分配金(円)

直近3期を表示			
4期 ('12/2/27)	5期 ('13/2/25)	6期 ('14/2/25)	累計
0	0	0	0



基準価額と純資産総額の推移



運用コメント

11月の米国株式市場は、QE 3 終了後、経済指標も相変わらず力強く、ECBのドラギ総裁の追加緩和に積極的な発言や、日本の量的緩和拡大、これから年末にかけての個人消費の拡大への期待などが入り混じり、じりじりと高値を更新する一ヶ月でした。

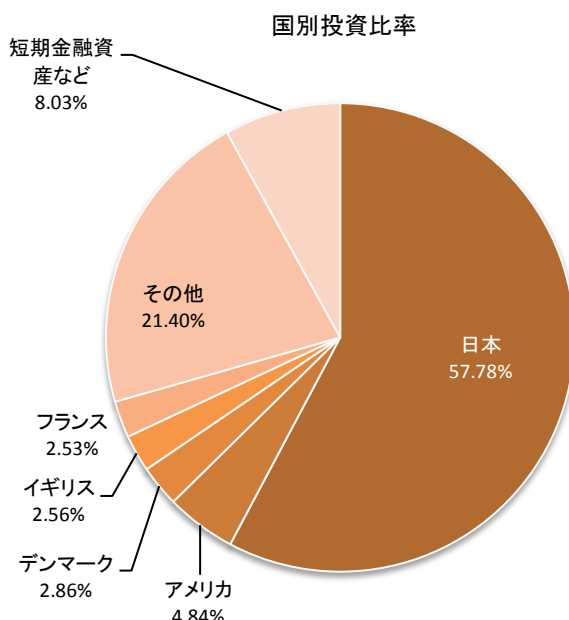
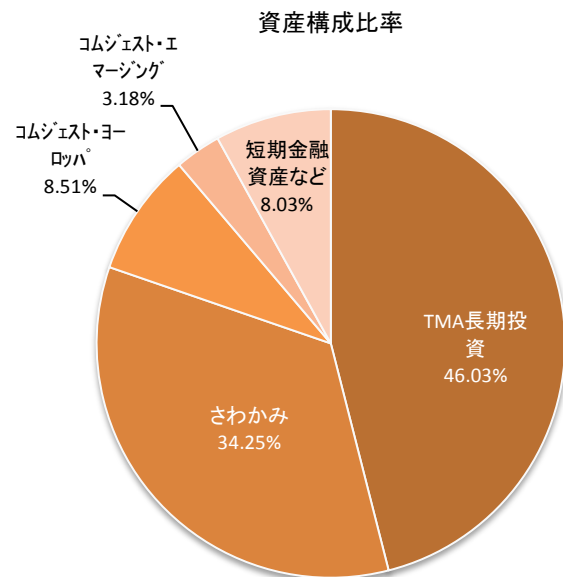
一方、日本の株式市場は、前月末の黒田バズーカ2の影響を大きく受け、大幅な円安が進む中、月末にはリーマンショック前の高値をうかがうところまでじりじりと値を上げてきました。

中旬では、消費増税の1.5年先送りの根拠となる7-9月のGDP成長率が想定以上に悪く、順調に高値を更新していた日経平均が500円以上下がるという場面もありましたが、翌日には値を戻し、さらに、「アベノミクスの成否を国民に問う!」という衆議院解散総選挙がいきなり浮上、少なくとも選挙までは株価は大きく下げないであろうという思惑もあり、高値更新が続きました。

こうした中、らくちんファンドは、さわかみファンド、コムジェストヨーロッパファンド、同エマージングマーケットファンドが大きく貢献し、前月比+8.39%と基準価額を大きく伸ばしました。

今後は、高値局面でキャッシュポジションを増やして行き、その後の調整局面を待って、積極的に買い入れをしてゆきたいと考えております。

ポートフォリオの状況



らくちんファンド純資産総額に対する上位組入れ銘柄・比率

(組入銘柄数:226銘柄)

順位	銘柄名	業種	組入比率	組入れファンド名
1	トヨタ自動車	世界最大級の自動車メーカー	2.02%	さわかみ
2	キーエンス	ファクトリーオートメーション用センサの製造	1.93%	TMA長期投資
3	シマノ	バイシクル、釣具、ボート等を製造	1.89%	TMA長期投資
4	ミスミグループ本社	機械加工製品の企画・販売	1.80%	TMA長期投資
5	ブリヂストン	世界最大手のタイヤメーカー	1.58%	さわかみ
6	エア・ウォーター	総合ガス企業	1.57%	TMA長期投資
7	NESTLE SA-REGISTERED	世界最大の食品・飲料メーカー(スイス)	1.24%	TMA長期投資
8	リンナイ	給湯、厨房、空調等の各機器を製造	1.24%	TMA長期投資
9	CACI INTERNATIONAL INC-CL A	ITサービスを政府・防衛機関等に提供	1.24%	TMA長期投資
10	シスメックス	臨床検査機器・検査用試薬・粒子分析機器ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売ならびに輸出入事業を展開	1.20%	TMA長期投資

ファンドの特色

①「長期投資」を実現するためのファンドです。

- ・長期的に安定した運用が行われているファンドであり、かつ将来にわたってもその運用が継続される可能性が高い複数のファンドを厳選します。
- ・運用にあたっては、景気変動のサイクルに沿った、アセットアロケーションの切り替え（現預金と組入れファンドの投資比率の変更）を大前提とし、景気サイクルのダイナミズムを先取りする形で、資産配分を行っています。
- ・運用にあたり、特定のベンチマークを設けることはしません。また、短期的な市場変動に惑わされることなく、長期的な資産の成長を目指して運用を行います。

②投資対象ファンドを厳選します。

- ・主として日本株、海外株等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。
- ・ファンドの運用方針が明確で、一貫性があることを重視します。
- ・運用資金が安定的に推移し、顧客から継続して支持を受けていることも重要な条件です。
- ・基準価額の推移が運用方針と整合性を持っているかも重要な判断基準です。

③日本株および海外株へ広く投資します。

- ・投資対象であるファンドを通じて、先進国から新興国まで幅広く世界の株式を中心に投資します。
- ・国や企業の高い成長性を世界に求める一方で、グローバルな成長による恩恵を受ける日本企業へも日本株ファンドを通じて、積極的に投資を行います。
- ・日本株と海外株の投資比率は50:50を当面の運用目標としておりますが、相場環境等により、この比率は大きく変わることがあります。

④ファンド・オブ・ファンズの仕組み

- ・個別の株式、債券等に直接投資するのではなく、株式や債券等に投資している複数の投資信託に投資します。

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者（投資者）の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

＜お申込みの際は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください＞

ファンドにかかわる費用

購入・換金手数料	ありません
信託財産留保額	ありません
運用管理費用 （信託報酬）	年率0.972%（税抜き0.90%） 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.6±0.3%（概算）
その他費用・ 手数料	監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等は、純資産総額の年0.108%（税抜0.10%）を上限として投資信託財産から支払うことができます。 *これらの費用は運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

業務管理部からのお知らせ

師走に入り、何かと慌ただしい季節となりました。
寒さも厳しさを増してまいりましたが、皆様お変わりございませんでしょうか。

【目論見書更新のお知らせ】

先日、『らくちんファンド』の投資信託説明書(交付目論見書)を改訂いたしました。今回は、基準価額の推移、運用実績の更新など軽微なものとなりますので、交付対象となるお客様のみにお送りしています。また、目論見書はご請求いただければお送りいたします。ホームページでもご確認いただけますので、ご覧下さい。

【年末年始の営業について】

12月30日(火)	12月31日(水)～ 平成26年1月4日(日)	平成26年1月5日(月)
通常営業:9:00～17:00 売買注文受付:9:00～15:00	休業日	通常営業:9:00～17:00 売買注文受付:9:00～15:00

【投資信託約款変更について】

平成26年12月1日施行の「投資信託及び投資信託法人に関する法律」改正に伴い『らくちんファンド』の信託約款第51条に「運用報告書に記載すべき事項の提供」を新設いたしました。この変更により、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により受益者にご提供いたします。運用報告書につきましては、ホームページからダウンロードおよび閲覧することができます。なお、受益者から運用報告書の「交付」のご請求があった場合には、運用報告書を交付いたします。

【毎月つみたてスケジュール】

引落開始月	新規申込・引落口座 変更締切日	引落金額変更・ 中止・再開締切日	引落日	約定日
平成27年1月	受付終了	12月17日(水)	1月5日(月)	1月16日(金)
平成27年2月	12月29日(月)	1月23日(金)	2月5日(木)	2月18日(水)

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話でも承っております。その際、ご本人様確認(氏名、住所、現在の契約内容等)をいたしますので、予めご準備をお願いいたします。

クローバー・アセットマネジメント株式会社 業務管理部 (受付時間: 平日9時～17時)

TEL: 03-6262-3923 / E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp

当資料のご利用にあたっての注意事項

■当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります)に投資いたしますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様の投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。■運用による損益は、すべて投資者の皆様に帰属します。■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。